

2 学期始業式に

令和5年8月21日

2学期が始まりました。

学校に戻ってきた皆さんにこうして話ができることにまずは感謝したいと思います。

2学期は、一番長く、たくさんの行事のある学期です。行事があるということは自分を伸ばすチャンスがあるということです。

まずは学園祭。「楽しむ」ことは大事なことです。同時に、学園祭の意義も考えてください。

クラスの仲間と協力してことを成し遂げる。先輩として、後輩のことを考えながら指示をだす。決まりを守りながら工夫して精一杯のことをやる。やったことのないことにチャレンジすることもまた「楽しさ」につながっていきます。

そんなふうに、今までの自分ができなかったことにチャレンジすることは学園祭をはじめとする様々な行事を貫く大きな意義でもあります。それはすなわち、自分を育てるということです。

どんな自分になりたいか。どんな自分になっていくのか。その答えは皆さん自身の中にしかありません。「自分探し」という言葉がありますが、今ここにいる自分以外に自分はいないのです。だから、探し当てるべき自分は常に自分の中にあるのです。世界のどこかになりたい自分がいて、それを探して旅に出るなどというのは甘い幻想にすぎません。今ここにある自分としっかり向き合って、自分のありたい姿になるよう行動し

ていく。学校行事をその糧にしてください。

2学期のたくさんの行事をただの行事にするのか、自分を育てるチャンスにするのかはあなた次第です。質の高い経験を積んでいくことと、本を読んで、自分自身と向き合うこと、視野を広げることは、伸びていく盛りの皆さんにとって必要で、大切なことです。

まずは、1学期の自分、夏休みの自分を思い出してみること。そして、2学期が終わるころの自分はどんな自分でありたいかを書き出してみることからはじめてみましょう。そして、自分だけでなく、周りの友人がなりたい自分になるための努力をすることを支えることも意識してください。

3年生は、自分の進路実現の勝負の学期にもなります。それぞれ進む道は違っても、共に学ぶ仲間として、最後まで学び続ける集団であることが、自分の未来も友達の未来も拓くことになるはずですよ。進路が決まったという理由で学びから逃走するなどということはもってのほかです。

大きな戦争を二度も経験してきた人類が、戦争を起こすような愚かなことはしないだろうとだれもが思っていました。しかし、実際にはそれが起こってしまっている。気候変動について、もう十年以上も前から気温上昇で真っ赤になった地球の姿が示されてきていました。そしてそれが現実のものになっている。今、AIについて、様々な議論がなされていますが、作り方、使い方によっては人類を凌駕し、淘汰してしまう脅威にな

りかねないという人たちもいます。私たちが、考えることを放棄して、行動を変えていかなければ、同じように望まない現実が起こるかもしれません。

だから、今の学びをしっかり自分のものにしてもらいたい。どんな時代にあっても、安心して前に向かって進むために、自分の頭でしっかり考えて判断できる力をつけてほしいのです。世の中に無駄なことなど何一つありません。特に学ぶということについては、だから、すべてを自分の糧にして、自分を伸ばして行ってください。

未来を生きる人たちに向かってマザー・テレサはこんなことを言っています。

思考に気をつけなさい。それはいつか言葉になるから。

言葉に気をつけなさい。それはいつか行動になるから。

行動に気をつけなさい。それはいつか習慣になるから。

習慣に気をつけなさい。それはいつか性格になるから。

性格に気をつけなさい。それはいつか運命になるから。

互いに協力して、自分も人もなりたい自分、ありたい自分へ向かって行動できる2学期にしてください。

校 長 中村 訓子